

平成 29 年度阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会
議事概要

1. 日 時：平成 30 年 3 月 29 日（木）13：30～14：50
2. 場 所：阿寒湖まりむ館 多目的ホール
3. 出席者：出席者名簿のとおり
4. 議 事

■開会

- 環境省阿寒摩周国立公園管理事務所 安田 直人 所長 挨拶
- 事務局から津別町及び一般財団法人自然公園財団川湯支部は急遽欠席となったことを報告。

■議題

（1）阿寒国立公園満喫プロジェクト地域協議会設置要綱の改定について

- 事務局から資料 1 及び参考資料 1 に基づき説明。
- 出席者からの質問等はなし。
- 設置要綱を当日付で改定案のとおり改正することを了承。

（2）阿寒国立公園満喫プロジェクト ステップアッププログラム 2020 の改定について

- 事務局から資料 2 及び資料 3 に基づき説明。
- 出席者からの質問等はなし。
- ステップアッププログラム 2020 を当日付で改定案のとおり改正することを了承。

（3）各主体における取組状況について

- 事務局から資料 4 及び資料 5 に基づき説明。

○補足説明

【足寄町 村石主査】

- ・重点取組地域の 1 つであるオンネトー・雌阿寒岳地域の取組について紹介する。平成 29 年度は、環境省、北海道十勝総合振興局、足寄町が事務局、地域住民を主要な構成員とする「オンネトーの魅力創造委員会」にて、持続的な利用とその在り方について、検討を重ね、キャッチフレーズやコンセプトを決定した。平成 30 年度は、委員会を中心に様々な試行を重ねつつ、必要な施設整備等を検討して参りたい。

○意見等の概要

【国土交通省北海道開発局 小林課長】

- ・弟子屈町で行われている人材育成については、非常に重要な取組と認識している。地域の代表的な取組事例として、他の市町が参加可能な講習会等を実施していただくことでより良い取組になるのではないかと。
- ・北海道運輸局・北海道経済産業局が実施している取組（資料４）のアドベンチャートラベル推進事業において、北海道の窓口としてHATAが設立された。今後このような組織も協議会のメンバーに含めるのか伺いたい。

【環境省 安田所長】

- ・新たな組織が設立された場合には、皆様のご意見を伺いながら協議会に入っていただくことも含め柔軟に対応したい。

【弟子屈町 吉備津副町長】

- ・人材育成事業については、今後も幅広く皆様に参加できるような形で進めて参りたい。

【環境省 安田所長】

- ・阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト ステップアッププログラムに関しては、今後も皆様のご協力を得ながら進めていくこととしたい。

（４）中間評価について

○環境省から資料６及び資料７に基づき説明。

○意見等の概要

【国土交通省北海道開発局 小林課長】

- ・中間評価に際し、地域協議会も併せて開催するなど開催回数が増えるのか伺いたい。

【環境省 安田所長】

- ・中間評価は、部会での対応を予定している。地域協議会は今後も変わらず年１回の開催とする予定。

【釧路市 蝦名市長】

- ・中間評価での訪日外国人の来訪者数、宿泊者数等については比較対象として目標となり得るものであるが、訪日外国人旅行消費額については、今後どのような形で分析していくのが重要と思われる。

- ・本市においては、水のカムイ観光圏において目標とする消費額の算定で膨大な金額になった経緯があり、統計の取り方によっては消費額に大きな開きが生じることもある。消費額を上げることも重要であるが、8公園の平均値を目標として設定した場合や目標値が高くなった場合にこの地域でどのような考え方で検討していくのが課題と思われる。

【環境省 安田所長】

- ・これから検討される内容であるため、本省へ伝えることとしたい。

(5) その他

○事務局から参考資料2及び参考資料3に基づき説明。

○意見等の概要

【国土交通省北海道開発局 小林課長】

- ・国立公園来訪者アンケートの結果（参考資料3）について、公園訪問者で日本人リピーターが多いにもかかわらず満足度が低い結果になっている。これは再度来訪する可能性が低いことまたは釧路から知床への通過点としての利用に留まることを示唆しているのではないかと考える。アンケートの自由記述欄（阿寒摩周国立公園を訪問した感想について）の記載内容についても協議会に公表し、満足度の低い理由等を分析すべきではないか。

【環境省 萱島管理官】

- ・国立公園訪問者アンケートについて、本省からは、今年度初めて行ったもので、また今回の資料は概要版として取りまとめたばかりなので、今後アンケート内容や実施方法等を精査し、次年度の実施に活かしていくと聞いている。アンケート集計結果については、協議会のメンバーに情報共有することとしたい。

【北海道釧路総合振興局 築地原局長】

- ・北海道は、ステップアッププログラムの進捗状況（資料4）において、質の高い利用環境を提供するための施設整備などの取組を行っている。来訪者が便利になることも重要であるが、来ていただくことを含め入込を増やす取組もしなければならないと考えている。今年8月にはピーチ航空が釧路・関西間に就航することもあり、今後も管内の市町村と連携を図り、日本人観光客やインバウンドが増加するような取組を進めて参りたい。
- ・中間報告における質の指標にもあるが、多言語表記等整備を進める一方で、単に整備するだけでなく利用者の利便性が向上するよう質を上げることも重要と認識している。

【北海道経済部観光局 近藤国際観光担当局長】

- ・訪日外国人来道者数について、平成 28 年度は 230 万人であったが、平成 29 年度は 270 万～280 万人を見込んでいる。対前年度比 20%増を想定しており、入込に関しては順調に増加しているものと思われる。
- ・道東地域への誘客については、ひがし北海道広域観光周遊ルートの形成に向けた取組で道央一極集中の解消に向けて進めているところである。新年度は、3 年目となる周遊ルートの実証実験、ゲートウェイとなる空港（釧路空港、女満別空港、中標津空港）からの移動手段と一体となった観光商品の開発、外国人観光客向けの周遊パス等の拡大など二次交通へのアクセスや利便性の向上を進めて参りたい。
- ・インバウンドが JR 釧網線をより活用できるような取組の他、アドベンチャーツーリズムなど道東の魅力を発信することで欧米からのインバウンド需要を取り込むことができるよう幅広い関係者と連携し地域の活性化に繋げて参りたい。

【美幌町長 土谷町長】

- ・本日の地域協議会における会議資料については、事前に配布をされなかった。本協議会をより活発化させるため、次回より会議資料の事前配布を要望したい。
- ・会議資料の文字サイズが小さいため、A3 サイズ等に印刷願いたい。

【環境省 安田所長】

- ・次回より要望のとおり対応することとしたい。

【国土交通省北海道開発局 桑島部長】

- ・国立公園来訪者アンケートにて、インバウンドの来訪目的や役立った情報については、Web サイトが最も有効となっている。ステップアッププログラムにおける各取組の中で全体的に Web サイトの整備などが少ないと思われる。基本的に各地区の観光協会や DMO などが既存のサイトで担われているが、積極的に Web 情報を活用した取組を行う予定など今後の方向性を伺いたい。

【環境省 安田所長】

- ・Web サイトについては、環境省のホームページに、国立公園のサイトが設けられている。
- ・誘客については、昨年度より阿寒の風景やアクティビティを撮影し海外のエージェントへ紹介を行っている。プロモーションや情報発信は大きな要素であるため、今後も力を入れて進めて参りたい。

【環境省 河野所長】

- ・映像については、これからも YouTube 等 Web 上で積極的に発信して参りたい。
- ・環境省の国立公園 Web サイトにおいて「国立公園へ出かけよう！」として阿寒摩周国立公

園のページが作られたことから積極的にPRして参りたい。

【標茶町 池田町長】

- ・前回は指摘させていただいたが、様々な資料に富裕層との記載があった。今回の資料ではあまり記載がないが、この表現については違和感がある。
- ・道路標識等への外国語表記について、固有名詞以外でのローマ字表記が散見される。外国人が本当に理解できるのか疑問であり変更すべきではないか。

【北海道経済部観光局 近藤国際観光担当局長】

- ・北海道運輸局の取組の中で、観光案内の統一した英語表記への取組を進めているところがある。国土交通省が所管する道路標識も徐々に更新されるものと思われる。

【国土交通省北海道開発局 桑島部長】

- ・ご指摘の点については、国土交通省としても承知しており更新作業を進めているところがある。

【環境省 安田所長】

- ・課題などについては、気づいたところから更新を進めることで対応願いたい。

■閉会

○北海道環境生活部環境局 東郷 典彰 生物多様性・エゾシカ対策担当局長 挨拶

以上